

センダン

[木本] 《忌避》



複葉が四方に広がる。



幼樹の小葉の切れ込みはさらに大きい。



落葉後、黄色のたくさんの実が残る。

区別のポイント

葉は2～3回奇数羽状複葉で、長さ30～80 cm。小葉は長さ3～6 cmで不揃いな鈍鋸歯がある。春には薄紫色の小さな花がびっしり付く。冬にな落葉し黄色の丸い果実がたくさん残る。

形態 落葉高木。大木になるものもある。

分布 四国・九州・沖縄

名前の由来 千珠（せんだま）から、実の付き方が数珠を連ねたように見えることから。芳香のある梅檀は白檀のこと。

葉 **〈全体〉** 2～3回奇数羽状複葉。小葉は卵状楕円形で長さ1～2.5 cm。

〈付き方〉 互生。 **〈葉柄〉** 長さ10～30 cm。小葉の柄1 cm以下。

〈基部〉 小葉の基部は左右不対称。

〈葉先〉 小葉の先端は長く尖る。 **〈縁〉** 小葉の縁は不揃いな鈍鋸歯。

備考 西部地域において、台風後に落下した葉は、他の枝はよく食べるものが多かったが、本種の枝は全く食べなかった。有毒：メリアトキシン。牛、羊、山羊、豚、犬、家禽と、ほとんどの家畜に中毒例があるという。ヒトにも中毒事故も多いとのこと。葉にタンニンを含む。

出典 1 2, 観察